



同窓会報
第12号

阜城

大阪教育大学
附属池田中学校阜城会
発行者 松本淳一郎(2期)
題字 豊田千代(2期)
〒563-0026
大阪府池田市緑丘1-5-1
☎072-761-8690
FAX 072-762-1104
URL http://kojokai.com

い標坂を、大きな不安を抱きながら登り、校舎前の八分咲きの桜と明るくフレンドリーな教職員に迎えられて、校長としての第一歩を踏み入れたのが、ついこの前のように思われます。そして、ホッと



平成21年
4月に正門
をくぐり、
新緑まぶし

高校の校舎主任でもあることに改めて重責を認識しました。初年度は中学と高校の入学式始業式が同じ日にあり、スーツで出勤した後、礼服、スーツ、礼服、スーツと一躍売れっ子のタレントにでもなったかのように分刻みで慌しく着替えたことも今となれば懐かしう思い出されます。

附中での四年間を振り返って

校長 山川正信

今後とも後輩への ご支援、よろしく

新米校長として一息つく間もなく、近畿附属学校連盟の副会長、そして翌年には同会長と全国附属学校連盟の副理事長を務めることになり、訳の判らないまま過ぎました。が、お陰で平成23年正月の宮中歌会始の儀に文科省の推薦により陪聴者として招待されたことは光栄の至りであります。

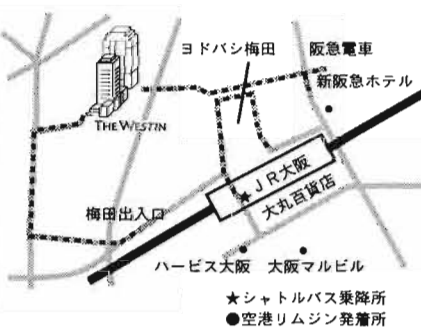
この間、生徒はじめ、PTA活動に熱心に協力して下さいる保護者の方々、教職員に支えられて最終年度を迎えまして、今後とも後輩へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

参加しませんか!!

懐かしい恩師の先生方も、たくさん出席されます。

＜平成25年度 阜城会総会のご案内＞

日時：平成25年4月7日(日) 午後12時～15時
会場：ウェスティンホテル大阪 4F 花梨の間
大阪市北区大淀中1-1-2 TEL 06-6440-1111
会次第：第1部 阜城会 総会
第2部 懇親会パーティー(着席ビュッフェ)
ゲスト：栢本淑子さん(13期) オペラ歌手
林家竹丸さん(前田 仁33期) 落語家
司会：小林祥子さん(43期) TBSディレクター
参加費：一般 6000円 大・高校生 2000円 新入会員 1000円
賛助金：一口 1000円
(参加費、賛助金は、同封の振り込み用紙で、郵便局から3月10日までにお振り込みください。)
* 事前のお振り込みがなくても、直接会場に飛び入りも大歓迎です。
* 3の期の会(3、13、23、33、43、53、63期)が、担当します。



同窓生の皆様には、お元気で活躍のこととお慶び申し上げます。本年度の会報と4月7日(日)に開催予定の総会のご案内をお届けいたします。



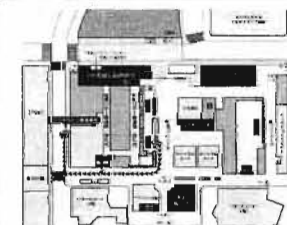
ご挨拶

阜城会会長 松本 淳一郎

昨今、世界の中での日本人の強みは何かという議論が盛んに行なわれている中で、高い教育水準からもたらされる国民の知識水準の高さ、言い換えれば良識ある人間

絆を深め 母校の発展にも寄与

の層が厚いことや、本源的な民族の資質、完璧を追求する向上心、忍耐と努力、寛容の精神等日本人の精神的資質が挙げられています。



先着時刻	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
先着時刻	0	10	20	30	40	50	0	10	20	30	40	50	0	10	20	30
先着時刻	0	10	20	30	40	50	0	10	20	30	40	50	0	10	20	30

我々の附中は、教育大学という教育のあり方を追求する大学の附属機関であり、先端的教育を直接的に享受できる学校であり、益々重要な立場にあると言えます。この学校の同窓生である我々も、益々その絆を強くして、各々が社会の中で活動し、また母校を支えていきたいと念じております。今後共、阜城会をご支援いただきますようお願い申し上げます。

しかし、現実には、経済的成熟や少子化展望から生じる弱気な空気が強く、日本の良さを見失いがちになっているのが懸念されます。これら日本人の長所を保持し、強化する礎は、中学校など幼少期の教育に負うところが大きく、その意味で教育の重要性が、再び活発に議論されているところです。

＜会報作成＞

会報委員

石田晶夫先生(旧教官・阜城会顧問)
小林 修(20期)、美濃部五三男(30期)

制作協力者

山内啓子先生(旧教官)、辻本堅二副校長
粟田佳子氏(30期)、坪村健司氏(30期)
永田浩章氏(30期)、稲村早希子氏(34期)
住亜希子氏(37期)、中野理絵氏(48期)

印刷 野崎印刷所

「先輩の授業を受けよう！」vol.11

学校とPTAと阜城会のコラボレーションによる本企画も11回目を迎え、現役の附中生たちも心待ちにしてくれるようになるほど、おなじみのものとなりつつあります。今年度も、そんな子どもたちの思いに応えて、16名の卒業生に講師として、ご登壇頂きました。ご協力いただいたPTAや教職員、阜城会理事の皆様ともども、御礼申し上げます。本当にありがとうございました。そして、今回は初めて同じ卒業生が、その授業を参観するという試みも行われました。その報告も併せてご紹介させていただきます。

先輩の話に聞き入る後輩。
今回は65、67期が授業を受けました。



今年も3期から51期まで、幅広い世代の卒業生に講師になって頂きました。扱うテーマも、医療界、法曹界から、エンターテインメント系まで実にさまざま。社会に出た卒業生の皆様の活躍が多岐に渡っていることを実感できるひとときでもあります。

そんな先輩たちの貴重な体験を、ほんのわずかな時間とはいえ、身近なものにしてくれる本企画は、現役の附中生たちもいつも大変楽しみにしています。

ここで各講師の皆様の行われた授業風景を生徒の簡単な感想を添えてご紹介しましょう。テーマに関しては、写真の番号と頁下の表の講座番号と照合のうえ、ご確認ください。

1 野原 明 先生



学力とは、勉強のみで身につくものではなく、周囲の人の経験や常識なども大切なのだということがよくわかりました。

2 大芝 信雄 先生



剣道の理念は「剣の理法の修練による人間形成の道である」という言葉が、一番印象に残りました。

3 丹羽 伸也 先生



多様性の重要さと、それを得るには失敗を経験することが大切だとわかりました。この授業で障がいのある人との心の壁が取り払われた気がします。

4 福嶋 教偉 先生



人工臓器には、まだ様々な問題があっても、最終的には移植が理想であるという話に驚きました。

平成24年度「先輩の授業を受けよう！」講師・テーマ一覧表

講座番号	講師(敬称略)	期	講師所属等	授業テーマ
1	野原 明	3	文化学園大学名誉教授、同杉並中・高校名誉校長 教育ジャーナリスト	身につけたい学力って何？
2	大芝 信雄	13	(株)トーセン・三栄鋼材(株)・三伸工業(株)顧問 剣道8段	最も長く現役でできるスポーツ…それは剣道。そして70歳代の剣道8段が一番強い
3	丹羽 伸也	24	岐阜県精神保健福祉センター所長 岐阜県知的障害者更生相談所長	～メッセージを読み取る～ 発達障害の豊かな世界
4	福嶋 教偉	24	大阪大学重症臓器不全治療学寄附講座教授 心臓血管外科医	重症又は末期の臓器不全ってなあに？ 人工臓器、再生医療、そして臓器移植について～
5	振津 かつみ	27	兵庫医科大学非常勤講師(遺伝学)・内科医師	放射線被ばくと健康・命・人権 ～ヒロシマ・ナガサキ、チェルノブイリ、そしてフクシマ～
6	勝原 裕美子	30	聖隷浜松病院 副院長兼総看護部長	日本の社会を動かす看護の力 ～1000人以上の看護スタッフの力を活かすリーダーシップ～
7	美濃部 五三男	30	獣医師 小動物臨床・動物病院院長	人と動物の絆～犬のことば～
8	中瀬 尚長	30	星ヶ丘厚生年金病院 整形外科(運動器再建外科)部長 医師	ドクターズ・ファイルズ：その真実と錯覚 ～ここぞしか聞けない医者の話～
9	印 藤 弘二	31	はばたき総合法律事務所・弁護士、京都大学法科大学院・特別教授	あなたが弁護士だったらどうしますか？ ～ロースクールの授業を受けてみよう～
10	前田 仁	33	落語家・林家竹丸	落語家という職業 ～無形の商品売るビジネス～
11	前田 憲	35	音楽教室&プロダクション経営 ジャズドラマー	カッコいいリズムとは？ 「ノリがいいね！」っていわれよう
12	梅村 聡	42	参議院議員/医師(日本内科学会認定内科医)	医療現場から国会へ
13	小林 祥子	43	TBSテレビ (東京放送ホールディングス) ディレクター	「情報の魅力・人に伝えるとはどういうことか？」 ～テレビの「裏側」を知って、君もニュースの編集長に！～
14	青柳 万美	49	アナウンサー (フリーランス/昭和プロダクション所属)	“話して” 伝える
15	尾崎 悠一	49	首都大学東京・大学院社会科学部研究科法学政治学専攻准教授(商法専攻)	大学の法学部で学ぶということ
16	森安 業人	51	共同通信社・大阪支社 運動部記者	“好き”を仕事にする ～スポーツ記者の仕事から～



体験型の授業もいくつかあり、これも生徒たちには、とても貴重な体験となりました。

5 振津 かつみ 先生



今まであまりよくわかっていなかった放射線の恐ろしさと、人間の思いやりを少し知ることができました。

6 勝原 裕美子 先生



看護とは目で観察し、患者さんに合う薬や対応をきちんとわかった上で、初めて行えるものだ、少しわかったような気がしました。

7 美濃部 五三男 先生



動物の殺処分について、まだ元気な命も他のたくさん命のために殺さなければならぬというのは、聞いていて心が痛かったです。が、一番印象に残りました。

8 中瀬 尚長 先生



医者的一天が診てもらった側の私たちには想像できないような内容で、まさに「ここぞしか聞けない話」、驚くことばかりでした。

9 印藤 弘二 先生



国選弁護では、どんな凶悪犯でも無実を叫ぶのならば、全力で被告人を守る姿勢を貫くことが正義なのだと、理解できました。

10 前田 仁(林家竹丸) 先生



修行中の弟子の面倒は、すべて師匠が見るといふ作家。伝統とともに、人間としての温かさをすごく感じました。

11 前田 憲 先生



ポイントとして挙げられた7つの「ながら力」の中で、「気合いを入れながら脱力する」ということが、一番心に響きました。

12 梅村 聡 先生



「才能や能力は自分一人のものではない」の言葉を聞き、今、自分の学びたいことを、いい環境で学べている事に感謝し、それで得た能力を社会のために使っていきたいと思いました。

13 小林 祥子 先生



みんなで話し合い、一番多くの人に伝えたい事を選ぶ、ニュース選択の体験がすごく楽しかったです。

14 青柳 万美 先生



ラジオのように声だけで物事を伝えることの難しさを改めて実感でき、貴重な経験になりました。

15 尾崎 悠一 先生



法律のことをひたすら勉強すると思い込んでいた法学部の全体像を知ることができました。大学受験の際は、法学部を意識したいと思いました。

16 森安 楽人 先生



将来の仕事を考えるときは、「好きな事」と「得意な事」の2つを組み合わせるといいという話が、とても参考になりました。(2、3面記 永田浩章)

講師募集のお願い

あなたの体験を後輩たちに伝えてくれませんか？

卒業生、OB教職員、PTAのみなさまの温かいご協力のおかげで実現しました「先輩の授業を受けよう！」も、今回で11回を数えることとなりました。本企画を行うと、いつも子どもたちの目が輝き、授業を終えた後は常に「附中にはこんなすごい先輩がいたんだ、自慢したくなった」「附中って、本当にいい学校なんだ。将来、自分も戻って『先輩の授業』をやって、先輩にそれを伝えたい」といった声が返ってきます。附中生の誇りと自信を芽生えさせ、普段の学習を見つめ直して、自分の特性や進

路を考える良い機会となつて欲しいという企画意図は、思った以上の成果をあげています。そこで阜城会会員の皆さまにお願いです。皆さまの貴重な体験を後輩たちに伝えて頂けないでしょうか？ 自薦他薦どちらでも構いません。左の記事のように、同期の誰かを講師に推し、その授業を参観して、そのまま同期の集まりへと移行するという流れがあってもいいと思います。

まだまだ講師未体験の卒業生のほうが断然多いはず。皆さまからの応募、心待ちにしております。

3期生 授業参観で同期会

9月15日(土) 母校にて「先輩の授業を受けよう」というイベントがあり、同期の野原明君が、はるばる東京からはせ参じ「身につけた学力って何？」というテーマで授業を担当するのを知り、卒業時3年B組のメンバーを中心に声をかけ12人が「野原教室」の授業を参観しました。

使用した教室が3年B組であったのも嬉しい偶然でした。(記 杉本三郎)



同期の野原さんが講師で授業を行うというので、集まった3期のみなさん。これからはこのように本企画が同窓生の集まるよい機会にもなっていくことでしょう！

年次活動報告

2期生

喜寿過ぎてても
深まる絆

今年の阜城会総会は「2期の会」が世話役と言う事で我等「2期生」も力が入って居りましたが、附中を卒業して60数年を過



ぎ「喜寿」を数年過ぎて居ります。12期生、22期生の皆様には大変御世話になりました事を御礼申し上げます。

総会終了後ホテルの別室で「さつき会」を開催しました。アメリカ(カリフォルニア)から川島恭子さんが東京から8名、合計24名が参集してくれました。佐々木均君の「チェロの演奏」に始まり楽しい歓談が続きました。翌日は日頃出掛ける事の少ない「近江八幡」を選び、レトロな町並を散策したり「水郷めぐり」に乗船したり、レストラン「浜ぐら」で近江肉を食したり、老人向きの楽しい一日を過ごしました。

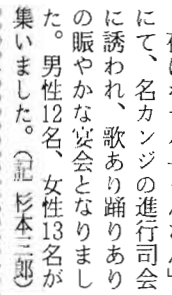
(記 祖多克己)

3期生

新緑の嵯峨野で
保津川下りも

5月21日(月) JR京都駅山陰線ホームに集合し「嵯峨嵐山」に移動。トロッコ列車で「トロッコ亀山」へ行き、観光船に乗り、新緑、深緑に囲まれて嵐山までの2時間の保津川下りを満喫しました。

夜はホテル「らんざん」にて、名カンジの進行司会に誘われ、歌あり踊りありの賑やかな宴会となりました。男性12名、女性13名が集いました。(記 杉本三郎)



13期生

20年来の
恒例ミニ同窓会

13期ではもうかれこれ20年来の恒例行事となつたミニ同窓会。昨年も11月10日土曜日、快



(記 野村誠)

20期生

還暦同窓会
(20期A組十)

平成25年1月13日(日)に阪急豊中駅前のホテルアイボリーにて、20期A組(十準A組)の還暦同窓会が藤原先生ならびに20名の同期生が集まって開催された。藤原先生の「小諸なる古城のほとり」の唄と



あり、珍プレーあり、怪我はなしの愉快・爽快なテニスを堪能しました。夕刻にはさらに数名が加わって、芦屋駅ビルで中華の丸テーブルを囲み賑やかなひと時を過ごしました。

(記 小林 修)

今年もおそらく11月に開催のはず。参加希望者は事実上「万年幹事」の労を取ってくれている岸洋子さんまたは牛島義行君にご連絡ください。

決して順番を間違えて逝くような非礼があつてはならないとの訓話の後、近況を交わし合い大いに盛り上がった。その勢いでほとんどが2次会へと移り、4時間もカラオケで声を潤らした。一部はさらに3次会も行い、次回同窓会の相談をしたという(憶えていない)。さすがに飲み過ぎて不届きの輩も現れ、皆を巻き込んで「あのCFカードは何処?」事件が後日発生、参加者の記憶に長く留まるだろう意義深い会となった。

22期生

「またみんなに会いたい!」
あと2年で卒業50周年!

4月22日の阜城会総会の後、松村先生、古屋敷先生にも参加して頂いて、ウェスティンホテルの隣、梅田スカイビル39階の中華レストラン「燦宮」にて、16年

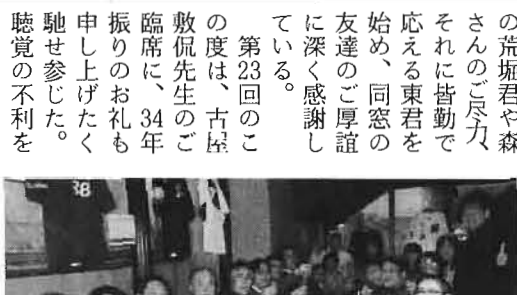
という手探り状態で始めましたが、食事とお酒の力を借りて、ドンドン盛り上がり、3時間があっという間でした。お元気な先生方にも会えて、少し緊張しな



31期生

第23回附属池田
小中高忘年会

大切に永続されて来た31期生忘年会は、平成24年の暮も、20人程が心斎橋に集まって開催された。例年ご多忙の中お越し下さる石田晶大先生の温かいお心と、永年お世話下さる幹事の荒堀君や森さんのご尽力



克服し更にその上、音楽活動で活躍する明石さんを始め、皆が皆、それぞれの身の丈で人々の害を除いては世の潤益を執り行っている次第を見知ると心底から嬉しい。不惑から天命を知る歳へと移ろうこの頃、あの先生に会いたい、あの旧友の顔も見たいと、感慨も一段上がる。今年もお決まりの12月30日にあるはずの忘年会は、年初の新しいカレンダーにもう予定が記されているのである。あの先生、そしてあなたに会って破顔一笑したくて。(記 上島一郎)

44期生

多彩な顔ぶれで
盛りあがる

同期の永田大介くんの結婚式後に、附小、附中、附高の合同同期会みたいなものがありました。集まったメンバーは全員職業が違つて、弁護士、医者をはじめ、釣りの世界で有名な小川健太郎くんや建築家、そして音楽家など、多彩な顔ぶれで、附属の個性を感じる同期会でした!(記 広田圭美)



“第65回 皇城会総会ゲスト紹介”

ソプラノ歌手 **栢本 淑子** さん (13期)

栢本さんは、附中時代当時の音楽担当の松村直行先生に、その才能を見出され、附中の音楽祭のオペラで主役を演じました。その後、オペラ歌手の道を歩み、現在では日本を代表する声楽家として広く世界に知られています。

＜プロフィール＞

大阪音楽大学大学院歌劇専攻修。ドイツ、ケルン音大に留学。帰国後毎年渡伊し、研鑽を積む。

常にモーツァルト、ヴェルディ、プッチーニ等のオペラの主役を演じ、好評を得る。イタリア、パヴィーアのフラスキーニ歌劇場にて、「蝶々夫人」のタイトルロールを演じ、又、ブルガリアのソフィアにてオペラ・ガラコンサートに出演し、絶賛される。

関西歌劇団副理事長、大阪音楽大学、千里金蘭大学講師。



落語家 **林家 竹丸**
(前田 仁) さん (33期)

＜プロフィール＞

脱サラして附中出身者初の落語家となり、大阪の天満天神繁昌亭などを拠点に、主に関西一円の寄席に出演しています。

“小さな体で、大きな笑いを！”

応援よろしくお願ひしませう。”

中学時代は卓球部、歴史研究部、天文部所属でした。



第2部は、22期辻康子さんの司会進行で和やかに

当日、多くの方が空腹のままお帰りになったことと、司会担当の私は、冒頭から、ハラハラドキドキの連続でしたが、ここに来て、途方にくれてしまいました。そこで、山川校長先生にスピーチをお願いし、学生たちに「行儀良くするよう」呼びかけてもらったのです。これは、大いに効果があり、会場の雰囲気は一変しました。その後の、松村直行先生の著作紹介と素晴らしいお話し、久しぶりの公の場にいられた、という古屋敷侃先生のお話し、そして、石田晶大先生のお話し、そして、私のお話し、どれも、私たちの心を打つ素晴らしいものでした。最後は、校歌斉唱、指揮は、松村先生の教え子でもある、田中龍三先生、みごととにラストを閉めて下さいました。

2013年は、13期生が皇城会総会の担当であるので、13期生を集めようと同期の幹事会を始めた。年に数回の予定であったが、一回集まると「また、集まろうではないか。」ということになり、幹事だけでなく他の同期も集まってきて、一ヶ月に一度は集まって一献傾けている。最初は3人だけだったのが、1人増え、2

第65回 総会に向けて ～13期生だより～

人増え、今では5～6名は必ず集まる。メンバーは、大酒のみの日納、今でもアナウンサーをしている口から生まれた西村聡、妻に先立たれ淋しい坪谷、おじいちゃん暮らしの鍛形、そして現役バリバリの正岡である。この年になると、心おきなく喋れる同期がいるのは嬉しい。
(記 正岡 哲)

装いも新たに
皇城会総会題字を一新！
水嶋山耀先生の揮毫
(12期小川範子さんの父君)



恩師のお話は、胸を打つ素晴らしいものでした

第1部の定時総会では、松本会長の挨拶の後、議案審議が終わり、「2の期」が担当する第2部の講演・親睦会へ。
第2部では、さまざまな分野で活躍するマルチタレントの末広真樹子氏(12期)が、お洒落な装いで登場。パワフルトークを約30分展開。
講演終了と同時に、閉まっていた扉が次々に開き、新卒業生たち約80人が乱入(?)。新卒業生は、無料なんです！。彼らは、追加されたテーブルに陣取り、ビュッフェ台に直行。なんと、食欲旺盛な若者たちに、料理が食べ尽くされてしまいました。そして、ザワザワした会場：司会担当の私は、冒頭から、ハラハラドキドキの連続でしたが、ここに来て、途方にくれてしまいました。そこで、山川校長先生にスピーチをお願いし、学生たちに「行儀良くするよう」呼びかけてもらったのです。これは、大いに効果があり、会場の雰囲気は一変しました。その後の、松村直行先生の著作紹介と素晴らしいお話し、久しぶりの公の場にいられた、という古屋敷侃先生のお話し、そして、石田晶大先生のお話し、そして、私のお話し、どれも、私たちの心を打つ素晴らしいものでした。最後は、校歌斉唱、指揮は、松村先生の教え子でもある、田中龍三先生、みごととにラストを閉めて下さいました。

お洒落な装いの
末広真樹子氏 (12期)

「行儀良くするよう」呼びかけてもらったのです。これは、大いに効果があり、会場の雰囲気は一変しました。その後の、松村直行先生の著作紹介と素晴らしいお話し、久しぶりの公の場にいられた、という古屋敷侃先生のお話し、そして、石田晶大先生のお話し、そして、私のお話し、どれも、私たちの心を打つ素晴らしいものでした。最後は、校歌斉唱、指揮は、松村先生の教え子でもある、田中龍三先生、みごととにラストを閉めて下さいました。



新卒業生も多数駆け付け、恩師を囲んでの幅広い年代参加の懇親会は大賑わいに



恒例の「年末同窓会」は恒例行事として継続していきたくと考えられています。同級生のみなさん、次回もぜひ楽しいひとときを過ごしましょう。再会を楽しみにしております。
(記 塚本雅代(旧姓 野口))

36期生
恒例の「年末同窓会」
△年次活動報告▽
△続き△
卒業以来、毎年12月30日に開

思います。申しわけありません！そして、「満腹」になった新卒業生たちが、いざ「大物」になって、先輩たちに恩返しをしてくれることを信じています。
(記 22期 辻 康子)

催される「年末同窓会」も早いもので、26回を数えました。昨年度は、阪急池田駅近くの「太郎兵衛寿司」にて、総勢62名の参加を得て、3時間にわたる話・近況報告にと大いに盛り上がりしました。

またお忙しい中、石田先生、田中先生、灰本(現、辻本)先生、敷内先生にもお越しいただき、盛り上がり、拍手をかけた下さいました。大変感謝しております。

平成24年度 皇城会総会を終えて

平成24年4月22日(日) 12時～15時 ウェスティンホテル大阪

平成24年度皇城会総会は、4月22日(日) 12時～15時 ウェスティンホテル大阪・花梨の間に開催されました。この日は、あいにくの悪天候で、美しい庭が見え

る宴会場からの眺めも台無し。父、欠席の恩師も多く、先生方の席には空席が目立ちました。

15分遅れで始まった、第1部の定時総会では、松本会長の挨拶の後、議案審議が終わり、「2の期」が担当する第2部の講演・親睦会へ。



お洒落な装いの
末広真樹子氏 (12期)

「行儀良くするよう」呼びかけてもらったのです。これは、大いに効果があり、会場の雰囲気は一変しました。その後の、松村直行先生の著作紹介と素晴らしいお話し、久しぶりの公の場にいられた、という古屋敷侃先生のお話し、そして、石田晶大先生のお話し、そして、私のお話し、どれも、私たちの心を打つ素晴らしいものでした。最後は、校歌斉唱、指揮は、松村先生の教え子でもある、田中龍三先生、みごととにラストを閉めて下さいました。

36期生
恒例の「年末同窓会」
△年次活動報告▽
△続き△
卒業以来、毎年12月30日に開

催される「年末同窓会」も早いもので、26回を数えました。昨年度は、阪急池田駅近くの「太郎兵衛寿司」にて、総勢62名の参加を得て、3時間にわたる話・近況報告にと大いに盛り上がりしました。

ご協力ありがとうございました

平成24年度 阜城会総会出席者&賛助金寄付者名
 <皆様のご芳志に厚く御礼申し上げます。> 24.1.1~12.31 (355名)

阜城会からのお願い

阜城会ホームページをご存知ですか

阜城会会員専用のサイトです。

阜城会 検索 もしくは

http://kojokai.com でアクセスしてください。「総会案内」「会員からの案内」「今年度の事業計画」などの紹介や「名簿変更手続き(住所等変更)」「講師登録」「会報記事依頼」の案内をしています。

阜城会会報およびホームページ

会員皆さまからの記事をお願いします

クラス会、同期会開催のお知らせや活動報告の記事を募集しています。また、各界で活躍されています同窓生皆さまの様子、受賞、出版、講演会・演奏会・展覧会などの記事もどしどしお寄せください。ご協力をお願いいたします。

住所変更 阜城会事務局にご一報を

毎年2月下旬に発送しています多くの会報があて先不明で戻ってきます。クラス会や同期会(学年会)などの連絡にも利用させていただきます。転居された場合は、阜城会にもぜひご一報ください。HPから、もしくは

〒563-0026 池田市緑丘1-5-1
 大阪教育大学附属池田中学校・阜城会
 まで。

「お詫び」 不手際により当日手続きの総会参加者リスト不明のため、一部出席者様のお名前が抜けております。

恩師便り ⑫

西欧見聞録

由良 規矩夫 先生 在職 昭和38年4月~昭和50年3月



私は12年間附中でお世話になりました。附高で紛争があった翌年、42才で配置換えになり、その年の夏休みに弟と二人、ヨーロッパへ。7月22日、ロンドンのヒースロー空港着、帰りは8月30日にドゴール空港発でした。その際、事前に決めていたのはロンドンでの宿泊施設だけでした。



次にスコットランド北端のドノホに行き、ホテルを拠点としての一週間のバス旅行に参加。ロンドンの社長、ヨーロッパからの外国人やエディンバラの団体客と行動を共にしました。ある観光地で老紳士に「日本語で案内できないのをお詫びする」と云われたこともあり。同行の社長から「隣は日本のYKKだが、労使関係もよく、業績もよい。なぜ」との質問。その根拠を禅と結び付けているようでした。その後

最後は大陸へ。パリで会った英国人も禅について語り、鈴木大拙の名前まで口にしました。スイスのインターラーケンでは土産物店に日本人登山家の写真が飾ってあり、聞くとユングフラウ観光開発の恩人とのことでした。私たちが英語圏でフレンドリーな対応を受けたのは、当時のハーマン・カーン(米)の「21世紀は日本の世紀」やヴォーゲル(米)の「ジャパン アズ ナンバーワン」の影響もあったのでしよう。先の東北大地震では略奪も暴動もなく、このことは世界から高い評価を得ました。逆にハリケーン サンディでは、あのニューヨークで停電が一週間も続いたことに驚きました。日本はやはりすばらしい国です。山中教授のiPS細胞も世界の多くの人の命を救うことでしょう。

最後に附属中学卒業生の皆様の益々のご活躍を祈って、私の体験報告をお終わらせていただきます。

☆卒業生の活躍☆

『内閣総理大臣表彰を受賞』
喜多悦子さん(7期)

喜多さんは、日本赤十字九州国際看護大学の学



長として、平成24年6月、これ迄一貫して取り組んでこられた、国際貢献並びに人道支援活動について、紛争地や開発途上国での先駆的活動や人材育成についての多大な功績が認められ、『男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰』を受賞されました。喜多さんは、昭和63年女性として初めて、紛争地への人材派遣としてパキスタン、ベニヤール勤務を手始めに、平成9年からはWHO本部で

アフガニスタン、ルワンダ等、世界の紛争地域の保健医療政策の策定及び実施に関与されました。現在、大学でも、世界に通じる看護人材の育成と発展途上国の医療従事者の受け入れ、能力開発に尽力されておられます。喜多さんの、このような活動並びに成果は、我々同窓生にとっても誇りと勇気を与えるものとして、ここに報告申し上げます。(記 7期 長谷川能民)

世界初 iPS細胞を活用した臨床研究へ再生医療の牽引者。眼科医 高橋政代さん(29期)



高橋政代さん(旧姓小池さん)は、理化学研究所発生・再生科学総合研究センター網膜再生医療研究開発プロジェクトのプロジェクトリーダーとして再生医療の臨床研究を行っています。平成25年度には世界初となる臨床研究として加齢黄斑変性の治療を開始する計画であり、今まさに注目の的である。15年前からの計画が段々現実となってくるのを見るのはとてもエキサイティングでしたが、実際の臨床研究が近づいてくると『世界で初めての治療』はゴールではなく一般的な治療にするための始まりであることをひしひしと感じます」と高橋さん。

振津かつみ(27期)さん 兵庫医科大学非常勤講師(遺伝学)、内科医師「核のない未来賞」を受賞 NFFA賞 受賞(24年度 先輩の授業講師) 医師で、ICBUW運営委員でもある振津かつみさんが、今年の「核のない未来賞」を受賞され、平成24年9月29日スイスで授賞式が行われました。この賞は、今までに、日本人では、平和市長会議&秋葉忠利・前広島市長(平成19年)や写真家の樋口健二さん(平成13年)が受賞されています。今年の受賞者は全部で5名で、振津さんは「教育部門賞」を授与されました。

<http://www.bandepleteduranium.org/en/icbuw-science-team-member-wins-nuclear-free-future>

学校は今

◆祝!陸上競技部

全国大会出場!

7月・9月に、横断幕を2枚テニスコートフェンスに掲げました。

7/23に開催された大阪中学校陸上競技選手権大会において、本校3年の岡本和茂くんが走幅跳で6m73cmの記録で見事優勝しました。この記録で全国大会出場も決めました。8/6・7に行われた近畿総体(会場・万博記念競技場)でも好成績で優勝!8/19・22に行われた全国大会(会場・千葉競合スポーツセンター)ではプレッシャーの中、全国9位の成績を修めました。

また、9/17に行われたJOC挑戦記録会において、1年の北浦詩乃さんが走幅跳で4m85cmの記録で第43回ジュニアオリンピック陸上競技大会に出場を決めました。



▲横断幕「祝!全国大会出場!」

上競技大会に出場を決めました。この全国大会は10/26(会場・神奈川県横浜日産スタジアム)に行われ、決勝には残れませんでした。したが、よく健闘しました。本年度の陸上競技部の活躍は素晴らしいですが、他のクラブでも地区大会で好成績をあげるなど、生徒たちの「文武両道」が輝いています。



▲新!生徒用ロッカー



▲「くめぎ坂」見通しよく

一部使用困難なものもあり、昨年の夏、教育後援会にご支援いただきスチール製のロッカーに入れ替えました。その際、サイズを少し小さくし廊下を広くとり、配置を工夫することで安全な避難経路の確保に努めました。また、キャンパス内にある樹木の大規模伐採を行い、見通しがよくなりました。

◆International safe school 認証に向けて

今年度、本校はInternational safe school(以下ISS)認証に向けて本格始動します。ISSとはWHO(世界保健機関)が根拠に基づいた持続可能な学校安全の取り組みが実践されている学校を国際的に認証するもので、現在国内では小学校2校(うち1校は附属池田小学校)が認証されています。

「安全・安心な学校は豊かな学びを創造する」ことを確認し、本校は平成26年3月のISS認証取得を目指します。(記 副校長 辻本堅二先生)

<書籍紹介>

本校卒業生が著者、もしくは共著、CDを刊行されました。ご紹介させていただきます。

銅傳 由香(29期)さん 共著

「女性を活用できない会社に未来はない!」(講談社)

シルバ寿子(31期)さん

「初めてのTOEICテスト いきなり600点が取れる本」(高橋書店)

広田圭美(44期)さん CD

227 1st シングル「227」2013年3月6日

on sale!!!

毎週土曜日TV東京系『美の巨人たち』2013

年1月~3月エンディングテーマで放送中。

227 Website

<http://227tamayuki.com/>

計報

松浦 伯夫 先生

元・附中校長が平成24年10月18日(木)ご逝去されました。葬儀はご親族のみで執り行われました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

阜城会会報11号の訂正

「恩師便り」の「公立中学高」↓「公立中学校」。「雲雀丘学園中学校」↓「雲雀丘学園中学校長」。お詫びして訂正させていただきます。